

平成 30 年第 7 回中津川市教育委員会（定例会）議事録

日 時 平成 30 年 6 月 26 日（火） 午後 1 時 30 分～

場 所 にぎわいプラザ 4-1 会議室

出席委員 教育長 本多 弘尚
委 員 小栗 仁志 田島 雅子 林 由美 三尾 和樹

事務職員 早川事務局長・小木曾教育次長（兼）学校教育課長・大塚事務局次長（兼）施設計画推進対策監・末木事務局次長（兼）教育企画課長（兼）施設計画推進室長・大巾文化スポーツ部長・丹羽文化スポーツ部次長・岩井教育研修所長・丹羽幼児教育課長・足立子育て政策室長（兼）子育て支援センター所長・山下発達支援センターつくしんぼ所長（兼）発達支援センターどんぐり所長・林阿木高等学校事務長・佐々木阿木高等学校教務主任・池戸生涯学習スポーツ課長（兼）少年センター所長（兼）勤労青少年ホーム所長・野村文化振興課長（兼）市史編さん室長・二村図書館長（兼）蛭川済美図書館長・青木文化スポーツ部統括主幹（併）中央公民館長・西尾鉦物博物館長

会議日程 1 開 会
2 前回議事録の承認
3 教 育 長 報 告
4 議 事
5 閉 会

番 号	件 名	結 果
議第 2 3 号	平成 3 1 年度使用中津川市立阿木高等学校用教科用図書の採択について	承認
議第 2 4 号	平成 3 1 年度中津川市立阿木高等学校の入学定員について	承認
議第 2 5 号	中津川市指定文化財の解除にともなう諮問について	承認

■教育長 それでは、ただいまから平成 30 年第 7 回中津川市教育委員会を始めます。よろしくお願いいたします。

日程第 2、前回議事録の承認につきましては回議とします。

日程第 3、教育長報告を行います。前回の教育委員会以降の出席行事等を中心に報告いたします。

5 月 24 日は法人保育所の連絡会、27 日は中津川リレーマラソン大会があり、教育委員会も 2 チーム参加し、何とか完走しました。29 日は加子母と東白川の学校給食を担っている「食と文化の館」の運営委員会、30 日は青少年健全育成理事総会、31 日は東濃地区教育推進協議会総会に出席しました。

6 月に入りまして、1 日は校長会、東濃地区公立幼稚園長会が中津川市を会場に行われました。2 日は前田青邨記念大賞表彰式、4 日は市議会の初日でした。6 日は東濃信用金庫評議員会、これは高校生が奨学金をいただいている関係です。7 日は市長さん教育委員さんの懇談会、9 日は美術協会展のオープニング、11 日は「暮らしの知恵創作展」実行委員会に出席しました。13、14 日は市議会の一般質問がありました。17 日は市消防操法大会、19 日は文教民生委員会、21 日は予算決算委員会、学校保健会総会に出席しました。23 日は中体連、市の陸上大会、24 日は文化協会総合文化祭、25 日は少年の主張大会に出席しました。

教育長訪問につきましては、5 月からこれまでに、神坂小・中、川上小・山口小、坂下小、南小、また保育園への訪問で、北野、落合、阿木の保育園へそれぞれ訪問しました。

今後の予定ですが、明日 27 日は市議会の最終日です。また、移動教育委員会が明日 27 日から引き続き行われます。教育長訪問の方も 28 日以降引き続き学校、保育園へ訪問します。

私からは以上です。

次に、事務局及び文化スポーツ部からそれぞれ報告をします。早川事務局長。

■事務局長 それでは前回の教育委員会以降の出席行事等についてご報告します。

5 月 23 日、法人保育所連絡会が開かれました。27 日、清流木曾川中津川リレーマラソンが開催され、教育委員会事務局は 2 チームが参加し、熱心な声援もあり大いに盛り上がりました。28 日は神坂小中学校の教育長訪問が行われました。6 月 1 日に校長会に出席しました。午後、東濃地区公立幼稚園長会がにぎわいプラザで開かれました。

4 日から第 3 回中津川市議会定例会が始まりました。13、14 日に一般質問、19 日に文教民生委員会、21 日に予算決算委員会があり、27 日に最終日の予定です。

内容についてご報告します。今回は、報告 2 件、条例 6 件、その他 2 件、補正予

算 2 件が提出されています。教育委員会事務局に係る条例は、前回教育委員会で承認いただきました「中津川市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について」と「中津川市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について」の 2 件を上程しました。補正予算については前回ご報告した通りです。

一般質問については全部で 9 人の議員さんから質問が出されました。教育委員会事務局へは、吉村孝志議員から「人口減少・少子高齢化による影響について」というご質問で、少子化により教育現場への影響はどうか、また、部活動への影響などを質問されました。子どもの減少により、1 学級当たりの児童生徒が減少し多様な人間関係の中で切磋琢磨しながら育つ力が弱くなりがちであること、野球部など単独の学校ではチームが組めず、他の学校と合同チームを編成して大会に出るなど工夫している等の答弁をしています。

行事報告に戻ります。6 月 7 日の市長と教育委員さんの懇談にはお忙しい中ご出席いただきありがとうございました。12 日には子ども子育て会議の認定こども園検討部会が開かれ、こども園の設計等にご意見をいただきました。21 日は学校保健会総会が開かれました。また 21 日から移動教育委員会が始まりました。今年も有意義な懇談の機会としていきたいと思います。6 月は教育長訪問に同行し山口小学校、川上小学校、坂下小学校、南小学校を訪問しました。また、保育園訪問は阿木保育園を訪問しました。25 日、子ども子育て会議が開かれました。本日午前中は、子育てまつりが開催されました。

今後の予定ですが、移動教育委員会が 27 日、29 日、7 月 2 日、9 日、11 日と予定されていますのでよろしくお願ひします。教育長訪問も 7 月 12 日までに 8 校予定されています。保育園訪問も 7 月 20 日までに 12 園の訪問を予定しています。

7 月 4 日に生活の家創立 40 周年記念式典が開催されます。7 月 5 日は中津川市安全安心まちづくり推進市民会議が開催されます。

予定は以上です。

■教育長 次に、大巾文化スポーツ部長、報告をお願いします。

■文化スポーツ部長 文化スポーツ部に関わる主な行事や事業について報告します。

5 月 24 日、国際交流事業検討委員会が開催されました。5 月 26 日、藤村記念郷定時評議委員会が開催されました。

5 月 27 日、第 3 回清流木曾川リレーマラソン大会が開催されました。当日は天候も良く、235 チーム約 1800 名もの選手が心地よい汗をかき、たすきを繋いでいくという形の中で、絆ができ、応援された皆様も盛り上がり、大会が大成功に終わりました。

5月29日、文化協会総会が開催されました。5月30日、青少年健全育成推進市民会議理事総会が市長、教育長、教育委員さん参加のもと開催されました。

6月2日、前田青邨記念大賞受賞者表彰式が東美濃ふれあいセンターで開催されました。春日井市在住の富永美千代様の「水の民 憩う」が大賞を受賞され、青邨記念特別賞、審査委員特別賞、優秀賞、奨励賞、入選の計99作品が展示されました。17日まで展示されその間の来場者は、984名でした。

6月4日、市議会6月定例会が開会しました。文化スポーツ部関係の一般質問の主なものとして、鈴木清貴議員から「中心市街地活性化計画の複合施設に図書館機能を入れるべきではないか」について問われ、「現在、複合施設構想として、子育て機能・交流機能・観光情報機能・学び機能を想定しており図書館機能はそうした各機能とも有機的につながるものとする」と答弁しています。また、「新図書館構想の早期実現を求める請願」が提出され、執行部の所見として「市民の役に立つ図書館を構想するためには、行政、議会、有識者、市民等を交えて検討する場が必要と考える」と答弁しております。

6月5日、落合在住の書家、洞田和園さんが岐阜県各界功労者表彰を受賞され市長に報告されました。6月7日、第18回アジアジュニア陸上競技選手権大会開会式が岐阜市で開催されました。日本での開催は今回初めてです。6月9日、美術家協会展オープニングセレモニーが開催されました。6月15日、図書館運営協議会が開催され、10名の委員に委嘱書を交付しました。6月16日、全日本オリエンテーリング大会の歓迎レセプションがこのプラザで開催され、翌日17日には坂下権の湖で約800名もの選手が競技を行いました。

6月16、17日、明治座クラシックコンサートが開催されました。6月17日、市消防団操法大会が開催されました。6月22日、文化協会設立20周年記念として展示部門が開会し、24日にステージ部門が行われました。6月25日、少年の主張中津川市大会が苗木中学校で開催され、最優秀賞に苗木中学校3年山田慎之助さんが選出されました。

今後の予定ですが、6月27日、市議会6月定例会が閉会します。6月28日、平成30年度岐阜県農業高校生海外実習派遣生の恵那農校3年吉村沙城さんが市長を表敬訪問します。7月1日、社会を明るくする運動及び街頭啓発活動が開催されます。

7月4日、東濃総合体育大会結団式が開催されます。7月6日、社会教育委員の会兼公民館運営審議会が開催されます。7月8日、東濃総合体育大会開会式が当中津川市で開催されます。7月12日、米国レスリング協会が合宿地の視察に来訪されます。

以上です。

- 教育長 ただいまの報告につきまして何かご質問がありましたらお願いします。
それでは日程第4、議事に入ります。

議事日程第1議第23号「平成31年度使用中津川市立阿木高等学校用教科用図書
の採択について」説明をお願いします。林阿木高等学校事務長。

[事務局から資料に基づき説明]

- 教育長 ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見がありましたらお願いします。
ます。

田島委員。

- 田島委員 小学校、中学校の「学び直しと合わせて」という言葉がここに書いてあるのですが、これは小学校、中学校の学び直しという意味で解釈しました。それで、基礎基本がどのような形で定着しているか、また学び直しをしなければならないような実態の片鱗を少し教えていただきたいと思います。

- 教育長 佐々木阿木高等学校教務主任。

■阿木高等学校教務主任 カリキュラム表を見ていただくといいと思いますし、併せて学校案内の方も少し分かりやすいようにカリキュラムが記入されています。学び直しの科目として、マルチベーシック・カルチャーセッションという科目が設定されています。この科目については、教員の自作のプリント等が中心になっていますので、そんなところで学び直しを行っています。

入学する生徒の実態については、年度によって非常に差があります。共通の視点で見たいということで、基礎学力を測る業者テストは毎年実施して比較はしています。教材も検討して、より伸びる形を工夫しています。学識経験者の大井様からも、継続的に検討して内容等考えていただけるといいというお話も伺いました。以上です。

- 教育長 そのほかご質問、ご意見ありますか。

三尾委員。

- 三尾委員 質問です。教科書の選定委員会の出席者にお名前が何人か挙がっているのですが、教科の専門の方は1人ずつだと思うのですが、教科書について研究するときに、1人で、たとえば国語の教科書を牧野先生が1人でこの教科書がいいというふうに研究されて報告されているのでしょうか。または複数で国語の教科書を事前に研究、選定してみえるのでしょうか。

- 教育長 佐々木阿木高等学校教務主任。

■阿木高等学校教務主任 教員配当のこともありますが、国語は正規の職員が 2 名、非常勤が 1 名入って授業を展開していますので、専門的な教科としては 1 人で選んだ科目にはなりません。地理歴史・公民も同様に、複数おります。数学もおります。理科は教員配当 1 人で、非常勤もおりませんが、理科の教員免許状を持っている職員は本校に何人かおりますので、そういうところとも相談して選んでいます。どの教科も 1 人ではなく複数の教員がかかわっています。ここにあるのは教科主任ということで代表で出席していただきました。

■教育長 三尾委員。

■三尾委員 ありがとうございます。それぞれの教科、慎重に複数で研究してみえてすばらしいと思いました。

■教育長 そのほか、質問、ご意見ありますか。

なければ議第 23 号については承認ということによろしいでしょうか。

■教育長 それでは議第 23 号「平成 31 年度使用中津川市立阿木高等学校用教科用図書採択について」は原案通り承認とします。

次に議事日程第 2 議第 24 号「平成 31 年度中津川市立阿木高等学校の入学定員について」説明をお願いします。林阿木高等学校事務長。

[事務局から資料に基づき説明]

■教育長 ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見がありましたらお願いします。

田島委員。

■田島委員 現在の阿木高校の生徒数、クラス数、クラス生徒数を教えてください。

■教育長 林阿木高等学校事務長。

■阿木高等学校事務長 1 年生は 38 名、2 年生は 42 名、3 年生は 36 名、4 年生は 15 名で、131 名が 5 月 1 日現在の生徒数です。各学年 2 クラスずつの 8 クラスです。

■教育長 そのほかご質問、ご意見ありましたらお願いします。

田島委員。

■田島委員 阿木高校の話題が出るたびに、阿木高校は子どもたちにとってとても大切な高校だから、なくしてはいけないので、できるだけ魅力のある学校にしてほしいという話題が出ます。教育長も阿木の出身ということですが、阿木で起業をしていらっしゃる方々に少し聞いたことがありまして、阿木の方々、特徴のある阿木高校にしていればきっともっと生徒さんたちも率先して来てくれるのではないかと、恵那農高ができるんだから阿木もできるんじゃないかということをおっしゃ

います。今度そば打ち全国大会に行かれるんですよね、確か。そういう、地元講師を使って全国大会に挑戦しようという企画もあると伺いました。阿木の方々がおっしゃるには、地元講師を使ってほしい、地元講師に素晴らしい方がおられるし、あと、シクラメンを作っている、規模が小さいのでたくさんアピールができないから、規模を何とかしてほしいとか、阿木の方々はいろいろ考えてみえます。やめてしまった農園のビニールハウスを借りたらどうかとか、いろいろなことを阿木の方が考えて、阿木高校を盛り上げていこうという姿勢なんです。それで、特徴的な阿木高校をつくるというような考え方はあるのでしょうか。なかなか難しいという話も伺いましたが、年度が替わりましたので伺います。

■教育長 佐々木阿木高等学校教務主任。

■阿木高等学校教務主任 すべて回答になるか分かりませんが、まず1点目。今年度の最初、昨年から少し話があったのですが、地域の方とコラボする形でそば打ちの大会に出るといった話が上がりました。これももう20年以上地域の方にそば打ちは教えていただいて、講師という形で活動を続けたわけですが、たまたま昨年度こういうチャンスがあるということで地域の方が手弁当、ボランティアの形で今、毎週練習して取り組んでいます。

これはそば打ちのことですが、それ以外にも特産品の農産物を利用するようなものも同じく活動してほしいということで、講師という形ですが手弁当で活動していただいているので、特徴的な活動にしたいと思います。高校ですので、授業の中で、31年度は30年度と同じカリキュラムですが、31年度以降はそういうカリキュラム的に授業の内容も考えていく必要はあると考えています。

ただ、農業等の規模については、生徒数もありますし、適正な規模で、教育の材料として農産物であるとか地域の伝統的な活動や福祉施設を利用させていただいていますので、そこがあまり負担になってしまえば教育の本当の目的がぼやけてしまいますので、取り入れながら改善はする必要があると思いますので、今後そういう教育課程の中でもう少し位置づけてやれるといいかなと思います。今は授業の中では一切活動しない形で放課後の時間を使って、そば打ちであるとか、あるいはボランティアでシクラメンの方に行くという活動をしていますので、少しそういうのも入れられるといいかなと思っております。

■教育長 田島委員。

■田島委員 ありがとうございます。お話を伺い、阿木高校の生徒の活動の状況がだんだん分かってまいりました。授業の中でシクラメンやジャムを作っているのではなく、放課後の活動で販売用のものを作ったりしていらっしゃるわけですね。確かに規模は小さいということで、高校へ行くなら阿木高校へ行こうというピカッと

光るものを作ってほしいと阿木の住民の方は思ってみえます。また、中津川市が持っている高校ですので、中津川市の私たちも思っておりますので、できるだけ早いうちに対応していただかないと、どんどん生徒が減ってしまうといけませんので、よろしくをお願いします。

■教育長 そのほかご質問、ご意見ありますか。

小栗委員。

■小栗委員 質問です。先ほど、現在の生徒数の回答があったのですが、定員 80 人に対して、今の 1 年生は 38 人ということでしょうか。

■教育長 林阿木高等学校事務長。

■阿木高等学校事務長 はい、今年の入学生は 38 人です。

■教育長 小栗委員。

■小栗委員 少子化の中で、どこの高校も、大学もそうかもしれませんが、いかに生徒を集めるかが今後大きな課題になると思いますので、阿木高校も多分に漏れずというところだと思います。どういう形で定員 80 人に対してそこに近づけていくのか、手立てや、今年度やっていこうということがあれば教えてください。

■教育長 林阿木高等学校事務長。

■阿木高等学校事務長 前年にもちょっとお話ししましたが、校長による各中学校の訪問や、学校説明ということで中学校へ高校説明を行っています。それから、体験学習で 7 月 26、27 日の 2 日間で体験入学に各中学校から来ていただくことになっています。そこでなるべく授業等を見ていただいて、行きたいと思っただけの努力は進めております。

■教育長 小栗委員。

■小栗委員 今ここで私からこういうことをするといいんじゃないかということは特になんませんが、先ほども言ったように、今後ますます厳しくなると思うんです、生徒を集めていくことが。阿木高校だけでなく、中津川市内にある県立の坂下高校などもそういったところが問題になっていて、人が集まる集まらないで学校の存続にかかわるということが出てくると思いますので、何とは言えないのですが、多分うまくやっている学校もあると思うんですよね、その辺を。そういったところをぜひ参考にさせていただいて、やはり定員の半分というのはちょっと寂しいと思いますし、定員 80 人用の設備も、先生たちもそろっていると思いますので、それもうまく活用できるような、人を多く入れることもさらに考えていただければと思います。

■教育長 林委員。

■林委員 1 年生 38 人、2 年生 42 人の中で、生産科学科と総合生活科にそれぞれ何人ぐらいずついるのですか。どちらが多いとか。

■教育長 林阿木高等学校事務長。

■阿木高等学校事務長 1年生 38名のうち 21名が生産科学科、17名が総合生活科で、今年はわりとバランスが取れた方になってきたと思います。2年生は生産科学科が 28名、総合生活科が 14名の 42名です。3年生は生産科学科が 28名、総合生活科が 8名の 36名。4年生は生産科学科が 8名、総合生活科が 7名の 15名です。

■教育長 ほかに質問はよろしいでしょうか。

田島委員。

■田島委員 中津川市教育委員会はよりよい一人立ちを目指すということを掲げています。阿木高校もその中に入っているのです、よりよい一人立ちを目指す指導というのは行き届いているのでしょうか。相変わらず教科書を見ると本当に至れり尽くせりの、工夫も全部入ってしまっている教科書なので、なかなか工夫をしたり自分で考えたりというのがひよっとしたら難しいのではないかと。阿木高校の生徒さんは社会に直結しておられますよね。ほとんどと言っていいのかわかりませんが、就職されて、販売に従事する方も多という話を聞き、人と対面することも多いと聞きましたので、一人で考え、一人で行動する、そういうことに対する指導は行き届いているのでしょうか。

■教育長 佐々木阿木高等学校教務主任。

■阿木高等学校教務主任 入学時からかなり個人差があり、中学校時代に 100日、200日休んでいた人が皆勤のような形で卒業される人もいれば、中学校から皆勤で部活動でも頑張っていて、高校に入ってから継続してそれをやり切って全国大会等へ出場して卒業していく人もおり、幅広く生徒が入学してきています。教科書は一人一人にその教科書が合ったものかということ、それはやはりちょっと工夫が必要で、ノートでとるような形、あるいはプリントで形を変えるようなことはしていかないと、個人には対応できないというのが現実です。昨年も一昨年も就職率は 100%、進学も近隣の四年制大学等にも進学しておりますので、幅広く対応をしています。個に対応するような形でやっていることをご理解いただくと有り難いと思います。

生徒の募集に関して、40名を切る形ではありますが、田島委員に指摘されたように、全国的なものにつながるようなもので成果を上げた年には、やはり人数が増えたりもしますので、そういうことは工夫が必要だとは思っています。ただし、そうなったときに、幅広い生徒が集まっていますので、個に対応できるかということ、そこも工夫しないと難しい点が出てきています。そういうところも理解しながら進めていきたいと思っています。

■教育長 田島委員。

■田島委員 本当に個に対応するということを考えていらっしゃるって、一人一人が社会に出られるように考えてくださっており、18歳が成人ということになってしまった世の中です、一人一人が人と対していける、心が弱くない、折れないとか、いろいろなことを阿木高校の先生方は考えていらっしゃるということがよく分かりました。これからも、とても大変なような気がするんですが、生徒さんたちのためによりしくお願いします。

■教育長 ほかにご意見ありますか。

なければ、議第24号については承認ということによろしいでしょうか。

■教育長 議第24号「平成31年度中津川市立阿木高等学校の入学定員について」は原案通り承認とします。

次の議事に移ります。議事日程第3議第25号「中津川市指定文化財の解除にともなう諮問について」説明をお願いします。野村文化振興課長。

■文化振興課長 「中津川市指定文化財の解除にともなう諮問について」ですが、本来であれば協議会においてこの中津川市指定文化財の解除にともなう諮問についてを議題とした後に教育委員会に提案すべきですが、前回教育委員会で諮問することになった「たたき祭り」と「中村観音堂」の指定についての文化財保護審議会は7月に開催する予定となっております。つきましては、今回の指定文化財の解除も併せて審議していただき、1回の保護審議会の開催で済ませたいと考えております。そのようにしようとする、協議会の説明をしないうに進めることとなり、教育委員会の流れに沿った形ではなくなってしまうかもしれませんが、ご了承のほどお願いいたします。

それでは、「中津川市指定文化財の解除にともなう諮問について」を説明します。

[事務局から資料に基づき説明]

■教育長 ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見がありましたらお願いします。

田島委員。

■田島委員 ご説明はよく分かりました。雌、雄とあるんですね。雄が倒れてしまったということで。これは多分一対でこういう形で雌・雄というふうに植えていたんでしょうね、きっと。倒れてしまった雄の方を植樹するということはあるんですか。

■教育長 野村文化振興課長。

■文化振興課長 そのあたりも、今後開かれる審議会の先生方にお話を聞きながら検討できればと思います。

■教育長 田島委員。

■田島委員 最近地震でブロック塀が倒れた件があったんですが、文化財も、樹木もそうですし古い石積みとか鳥居とか古い建築物が指定されているので、こういうものに対して、地震などの点検などはやっているのでしょうか。

■教育長 野村文化振興課長。

■文化振興課長 自然の脅威といいますか、台風などもそうなんですが、そういった案件があった場合は、管理している人、または地域の事務所がありますので、そういった人の力を借りながら確認しています。

■教育長 そのほか質問、ご意見ありましたらお願いします。

■田島委員 強いて点検していくということはしてないわけですね。

■教育長 野村文化振興課長。

■文化振興課長 すべてのもので行えるわけではないですが、今回天然記念物の木が倒れるという事案を受け、ほかの部分の点検も併せて実際には行っています。

■教育長 田島委員。

■田島委員 ブロック塀のああいふことがあると、古いものに対して、たとえば保育園で神社に遊びに行ったりとか、子どもたちが遊ぶ場所であったり、そういうことも利用されていると思うので、ちょっと心配になってしまい、聞いてみました。

■教育長 そのほか、質問等ありましたら。

三尾委員。

■三尾委員 雄のイチイについて樹齡がもし分かれば。倒れる危険性のあるぐらいの老齡のイチイなのか分かりますか。

■教育長 野村文化振興課長。

■文化振興課長 今私の持っている資料ではそこまで分かりませんので、調べて後ほど回答します。

■教育長 三尾委員。

■三尾委員 ありがとうございます。すべての天然記念物、たとえば樹木の倒木について調べるのは無理かもしれませんが、あまりにも樹齡が経っているものについては限られてくると思いますので、上から 5 番目ぐらいまでをチェックするとか、そういったことも可能になるかなと思いますので、大体の樹齡を調べておくことも、分かるかどうか分かりませんが、大切かなと思いました。

■教育長 ほかにご質問、ご意見ありますか。

ないようですので、議第 25 号については承認ということによろしいでしょうか。

■教育長 議第 25 号「中津川市指定文化財の解除にともなう諮問について」は原案通り承認とします。

これで本日の議事はすべて終了しました。長時間ありがとうございました。全体を通して何かご意見等ありましたら。

事務局から次回の日程についてお願いします。末木事務局次長。

■事務局次長 次回は7月18日水曜日13時30分からにぎわいプラザ4-1会議室で開催します。よろしくをお願いします。

■教育長 次回は7月18日13時30分からですのでお願いします。

以上で平成30年第7回中津川市教育委員会を終了といたします。お疲れさまでした。

[閉 会 (午後2時27分)]

[閉 会]